

広報

みぶ

2015

1

No.668

活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ
平成27年 壬生町賀詞交歓会



みぶ

壬生・ふるさと夢大使就任！

(株)タカラトミ一代表取締役社長
おもちゃ団地協同組合理事長

富山幹太郎氏

主な内容

新年のごあいさつ2～3
高齢者見守りネットワーク事業5

つ さ い あ ご



壬生町長
小菅 一弥

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は、町政の推進に対し、多大なるご支援ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

お陰を持ちまして「壬生町第5次総合振興計画後期基本計画（主力UPすまいるプラン）」に掲げました事業につきましては、滞りなく推進することができ、これも、皆様のご支援ご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内におきましては、政府により「元気で豊かな地方の創生」が最大課題として掲げられ、地方活性化に向けた施策が、徐々にではありますが、着実に実行されてきております。

町内に目を向けますと、『みぶ羽生田産業団地』では、平成24年12月の分譲開始以来、県や町の企業立地に対する優遇制度の創設や誘致活動などが功を奏し、相次いで企業が進出いたしました。

9月には、産業用工作機械製造の「ファナック株式会社」の進出が決定し、これまでに分譲中の土地に加え、今後造成予定の土地すべてを購入いただくという、まさに、夢のような結果がもたらされました。

また、4月には、町保健福祉センター内に、住民協働のまちづくりの拠点となる「壬生町町民活動支援センター（愛称…みぶりん）」を開設し、また、以前「子ども議会」で提案のあった図書館設置について、南犬飼地区公民館分館の「まちかど文庫」として実現することができました。

さらに、10月の『ねんりんビ

ック栃木2014』では、町総合公園を会場にサッカー競技が行われ、多くのボランティアの皆様にご活躍いただきました。

教育・文化の面でも、小中学校教室へのエアコン設置・耐震工事の完了、国指定史跡「車塚古墳」の本格的な発掘調査など、関係者のご支援を頂き、大きな成果を上げることができました。

また、昨年は、記録的な大雪、竜巻などの自然災害が相次ぎ、農業分野を中心に大きな被害が発生しましたが、町議会のご理解ご協力のもと、復旧復興に向けての補正予算の編成、支援制度の創設などの対策を講じました。特に、農業関係団体や消防団の皆様には、発生直後から組織一丸となって迅速に対応いただきました。

このように、昨年は、多くの皆様のご支援ご協力のもと、着実かつ確実に「協働のまちづくり」を進めることができたものと思っております。

今年は、現在の壬生町になりました。60年の節目を迎え、平成28年度からのまちづくりの指針となります。次期総合計画の策定も本格化いたしますが、引き続き、町民の皆様を持つ「壬力」を結集し、多くの方に「住んで良かった」と実感していただけますよう各種施策を積極的に推進して参ります。

まず、子ども医療費の助成ですが、本町におきましては、来年度より、窓口での支払いを必要としない現物給付の対象を中学3年生にまで拡充します。

次に、生活に身近な道路、区画整理、上下水道等の整備につきましては、関係各位のご理解ご協力を賜りながら、計画的な整備を推進して参ります。

特に、県道羽生田上蒲生線につきましては、産業団地へのアクセス道路、産業活動を支える重要幹線となりますことから、全線4車線化、交通渋滞緩和のための拡幅整備等を最重要課題として、関係機関に対し要望して参ります。

また、安全安心な生活の確保を図る「自主防災組織の育成」や「高齢者見守りネットワーク事業」など、より多くの皆様に参加いただき、町内全域での実施を目指しますとともに、広く防犯灯のLED化を推進して参ります。

農業分野では、いちご・ニラ・トマトなどの主要農産物のブランド力強化による販路の拡大や壬生菜の本格的な栽培に取り組みますとともに、国・県、関係者のご支援ご協力を頂きながら基盤整備事業を推進して参ります。

さらに、商工業では、経営者の皆様との意見交換等による新

たなニーズや課題の把握に努めるとともに、関係団体などのご理解ご協力のもと、壬生プランDの確立や支援体制の整備を推進して参ります。

教育・文化では、スポーツ活動・健康づくりの拠点、災害発生時の防災拠点などの複数の機能を有する「新体育館」の整備を進めますとともに、小中学校では、児童・生徒の安全・安心の確保のため、引き続き、施設の改修等を実施いたします。

さらには、町図書館に指定管理者制度を導入し、利用者の利便性向上と効率的な運営を図って参ります。

以上各分野での主な施策につきまして、述べさせていただきましたが、これら以外にも、取り組むべき事業がたくさんございます。

今年は、第5次計画の総仕上げの年でもございます。皆様と共に築き上げて参りましたまちづくりの成果をより確かなものとするために、全職員一丸となつて、次の未来に向けてチャレンジして参ります。

年頭に当たり、皆様方の御多幸をご祈念いたしますとともに、格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年の

新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい平成27年の新春をお迎えのことと、町議会を代表いたしまして心よりお慶び申し上げます。

重ねて、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて昨年を振り返ってみますと、まず9月に当町にとつて大変喜ばしいビッグニュースが飛び込んでまいりました。

既に皆様もご存知のことと思いますが、みぶ羽生田産業団地に産業用ロボットの分野における世界的大企業であるフアナック（株）の進出が決定致しました。平成24年12月に分譲が開始され、平成25年1月に（株三和）（業務用食料品卸

業）、3月には（株ボンダパーツ）日商（用品卸売業）が進出決定について、残る未分譲地69・4[㍒]すべてを一括売却となりました。

みぶ羽生田産業団地の企業操業により、本町経済の力強い成長と地域の発展、イメーリアップに多大な貢献を頂けるものと確信しております。

昨年4月の消費税増税の影響もあり地方の景気は停滞しておりますが、壬生町の未来には明るい光が差し込んでいます。

国内の出来事を振り返りますと、昨年は世界で輝く日本人が輩出された年でありました。宇宙飛行士の若田光一氏が日本人として初の国際宇宙ステーションの船長に就任したことや、赤崎勇氏ら3名が青色LEDの開発によりノー

ベル物理学賞を受賞されたことは、日本人に希望と誇りをもたらしました。スポーツ界では2月に開催されたソチ・オリンピックでフィギュアスケートの羽生結弦選手が金メダルを獲得したことはもちろん、スキージャンプの葛西紀明選手が41歳で銀メダルを獲得した偉業には、日本中が勇気をいただきました。

一方、8月の豪雨による広島市における大規模な土砂災害の発生や9月の御嶽山の噴火など、昨年もまた全国各地で自然が猛威をふるいました。

当町においても2月に記録的な大雪、6月の大雨、そして8月には竜巻が発生し、農業従事者のみならず町全体に大変な打撃を与えました。このような不測の事態に迅速に対応するため、我々町議会は

昨年に壬生町議会災害対策本部設置要領を制定しております。とりわけ竜巻発生の折には、全議員が即日集結し、現地での被害状況の調査を行ったうえ、翌々日には町執行部に災害復旧支援措置の早期対応に関する要望書を提出致しました。今後も災害に対しては万全の構えを取って望む所

存であります。

国政に於いては、7月に安倍内閣が集団的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更を閣議決定し、賛否が巻き起こりました。しかし国民の最大の関心事は、なんといっても経済の先行きであります。多くの国民が、特に地方においては景気回復を実感できない状況であります。国においてはまず景気対策を最重点課題として取り組まれることを強く望むものであります。

議会においては、こども議会の提案が政策に取り上げられ、「まちかど文庫」が南犬飼地区公民館分館内にオープンしました。これは平成23年に開催した第2回壬生町こども議会において、「南犬飼地区に図書館が欲しい」という提案を受けて整備され、蔵書については町民の皆様呼びかけて寄贈していただくなど、まさに町民の善意と真心の結集により実現した政策であります。

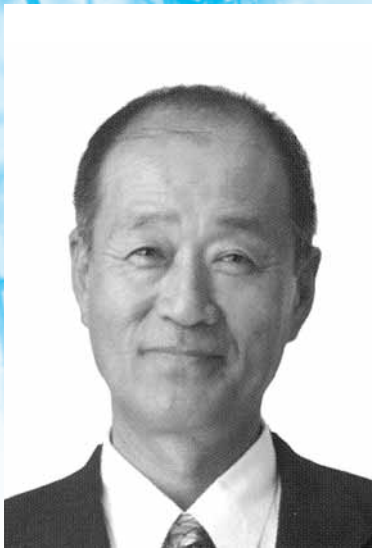
議員は住民の代表であり、住民の意思を反映した政策を提案することができます。そして議会は行財政の運営や事務処理について住民の立場に立って審議していくことが必

要です。今年は新たな試みといたしまして、議会の活動状況等を議員自ら地域に向いて報告・説明する議会報告会（仮称）の開催に向けて準備を進めております。併せて皆様との意見交換会も実施する予定ですので、是非足をお運びいただきたいと思います。

昨年は午年にふさわしく町が飛躍するチャンスを9月につかみ取り、年の暮れには壬生町出身の戸崎騎手（MVJ）がJRAの有馬記念を初制覇し、2014年の幕を閉じました。今年は末年のごとく、産業・医療等が結集し壬生町が将来に向けて安泰となるよう祈ります。

社会経済情勢の厳しい中ではありますが、町民の皆様とともに、より豊かな住み良いまちづくりをめざして取り組んで参りますので、引き続き町議会に対しましてのご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

結びに、壬生町の限らない繁栄と皆様方にとって本年が更なる飛躍の年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

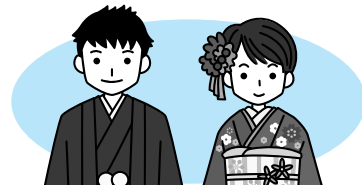


壬生町議会議長
市川 義夫

20歳になったら 国民年金

国民年金は、年をとったときやいざという時の生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとったときや、病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。



国民年金のポイント

◎将来の大きな支えになります。

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するので、安定した年金の給付が生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません。

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。



「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

★「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

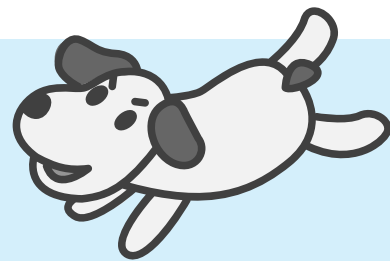
★「若年者納付猶予制度」

学生でない30歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

国民年金のご相談・
手続等のお問い合わせ先

・ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165 ・栃木年金事務所 国民年金課 ☎22-6074
・役場民生部住民課国保年金係 ☎81-1827

犬の飼主の皆さんへ



○犬を家族に迎えたら、まず町に登録をしましょう。

新たに犬を飼う場合(購入、贈与等)、飼主は犬を飼い始めてから30日以内に町に登録をしなければなりません。(ただし、出生の場合は90日を経過した日から30日以内。)(狂犬病予防法第4条)

登録された犬には鑑札が交付されます。鑑札は愛犬の住民票です。

もし、愛犬が住所移転や死亡した場合は必ずご連絡をお願いします。

○狂犬病予防注射を受けさせましょう。

狂犬病の予防注射は、日本国内で犬を飼育する場合、年1回必ず受けさせなければなりません。(狂犬病予防法第5条)

狂犬病はとても恐ろしい病気です。狂犬病は、**犬に限らず全てのほ乳類に感染する可能性があります**。また、狂犬病は発症すると致死率はほぼ100%。つまり、発症してしまえば、現代の医学では助けることができません。

近年、日本での発症例は報告されていませんが、世界的には、毎年、狂犬病により多数の方が亡くなっています。また、隣国の台湾では、つい最近狂犬病に感染している犬が見つかったばかりです。

ほ乳類の密輸等によって狂犬病がいつ日本に入ってくるかわかりません。狂犬病の予防注射は、**愛犬を守るだけでなく、人を守るためのものなのです**。

○犬はつないで飼いましょう。

犬は多くの場合、飼主には従順です。しかし、全ての人に従順というわけではありません。

昨年度、壬生町内でけい留されていなかった犬が、他人を咬んで大けがを負わせてしまうという痛ましい事件がおきました。

放し飼いやきちんとつないでいなかったがために、飼い犬がほかの人や犬を咬んでしまった場合、飼主がその責任をとり、損害賠償をしなくてはなりません。飼い犬はつなぐか、清潔なおりに入れて飼いましょう。

○犬のふんは持ち帰りましょう。

自分の敷地や家の前に犬のふんが落ちていたら不快に思いませんか？

また、子どもたちが遊ぶ公園で犬がふんをして、誰もそれを片付けなかったらどう思いますか？

犬のふんの持ち帰りは、飼い主が守るべき最低限のルール・マナーです。ふんは必ず持ち帰り、適正に処分しましょう。

※**愛犬は大切な家族の一員です。社会のルールを守って大切に飼育しましょう。**

犬の登録や狂犬病予防注射についての届出、お問い合わせは

壬生町民生部生活環境課環境保全係 ☎81-1834

動物に関するご相談は…

栃木県動物愛護指導センター ☎028-684-5458

—高齢者が安心して暮らせる地域社会をめざして—

壬生町 高齢者見守り

ネットワーク事業



47自治会、173名のチーム員が活動中

壬生町では、平成24年度から「高齢者見守りネットワーク事業」を開始しました。この事業は、65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯のみなさんが、地域で孤立せず安心して暮らすことができるよう、自治会の中でチーム員の方が「さりげない見守り」を行うものです。

12月22日現在、見守りネットワーク事業実施自治会は町内81自治会中47自治会、チーム員総数は173名となりました。

高齢者見守りネットワーク事業へのご登録をお願いいたします

平成24年度に六美地区3自治会でスタートした高齢者見守りネットワーク事業は、25年度に35自治会、26年度に9自治会からご登録をいただき、見守りネットワークの輪を広げることができました。

壬生町では平成37年に高齢化率が31%になると予想されており、今後、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯など、支援が必要と思われる世帯は増え続けていきます。そんな中、地域で見守りネットワークが構築されることにより、「さりげない気づかい」や「ちょっとした目配り」が生まれ、高齢者の異変を早期に発見することで、問題が深刻になる前に解決することができます。また、日常的に見守り活動を行っている地域ほど、災害時における住民同士の助け合いが円滑に進むといわれています。

誰もが地域で安心した生活を送ることができるよう、登録いただいていない自治会においても、登録をご検討くださいますようお願いいたします。

協力事業者の募集

壬生町では、見守りネットワーク事業に 協力していただける事業者を募集しています

現在、11社の協力事業者と協定を結び、見守りネットワーク事業にご協力をいただいています。

高齢者宅を訪問する機会が多い事業者の方々との連携は、見守りネットワーク事業の広域化の推進と、継続的な訪問を通して高齢者の方の変化を迅速に捉えることができるなど、緊急時の早期発見につながる事が期待されます。

地域のつながりが希薄化している中で、声掛けや見守りの輪が広がり、人と人との支え合い、いつまでも安全安心に暮らしていける地域づくりに向けてと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

ご協力いただける事業者の方は、下記までご連絡ください。

問合せ先

町民生部健康福祉課高齢福祉係 ☎81-1830



子育てに励む お父さんのための「子育て・親育ち講座」

BE-PAPA

この秋、子どもに頼られるパパになろう を開催しました

平成26年11月16日(日)、嘉陽が丘ふれあい広場を会場として、子育てに励むお父さんを対象とした「子育て・親育ち講座」を開催しました。壬生町教育委員会で、対象を父親に絞った講座開催は初の試みでしたが、当日は小学生親子44名が参加しました。ボーイスカウト栃木県連盟から3名とキャンプインストラクター1名に講師としてご協力いただくことができ、いざという時に役立てることができる、空きかんを使ったごはん炊きや、ポリ袋を使った簡単おかず調理を学びました。親子で力を合わせて新聞紙の薪に火をつけたり、あっという間にできあがったおかずのおいしさに親子でにっこりしたり、たっぷりふれあえる時間となりました。



【参加した保護者の声】

- 子どもとの協同作業ができる企画でとても良かったです。火(マッチ)を使ったり、野菜を切ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。
- 子どもなりにできることを見つけて、一緒に作業する様子は、どの家族も同じで、ほほえましかったです。わが子も周囲の方々に励まされたり、ほめてもらったりしながら、楽しい時間を過ごすことができました。

【参加した子どもたちの声】

- ごはんを作ったのが楽しかったです。みんなで食べたごはんが、おいしかったです。うれしかったです。お父さん、お母さんと作って食べるのが楽しかったです。
- とてもいい経験をしてとても楽しかったし、家でもお父さんと弟と作ってみたいと思いました。

お問い合わせ

壬生町教育委員会事務局生涯学習課

☎0282-81-1873

未来のお父さん、お母さんのための「子育て・親育ち講座」

リャン

ドウ

ファミリー

Lien de Famille

～家族のため 今の自分にできること～

12月14日(日)、壬生中央公民館におきまして、未来の親となる中学生を対象とした「子育て・親育ち講座」を開催しました。食の面から家庭教育を考える本講座は今年で3回目となり、毎回、壬生町学校栄養士会の協力を得ながら、壬生町子育て支援グループ「ポケット」と壬生町教育委員会の協働で行っています。

今回の講座のテーマは「家族」です。中学生という今の自分にとって、家族のためにできることは何か考えるきっかけとなるよう願いを込め、家族で楽しむためのパーティーメニューの調理実習を行いました。参加した中学生たちは、講師を務めてくれた町内小中学校の栄養教諭、学校栄養職員3名から、誕生日や記念日などのホームパーティーで、家族に喜ばれるメニューを学びました。

【参加した中学生の声】

- 見た目もきれいでかわいしい、とてもおいしかったので、お家の人たちにも作りたいと思いました。また、このような機会があったら、やりたかったです。

- 友だちと作るのも楽しかったし、とてもきれいに作ることができてよかったです。とてもおいしくできました。これから家でもやってみたいです。
- 今後の生活にいかしていけるような講座で、とても楽しかったです。私は初めてこのような講座に参加して楽しかったので、また参加したいです。



※今回中学生たちが作った料理のレシピは、教育委員会ホームページ「食育のページ」からご覧いただけます。

リャンドウファミリー

※Lien de Familleとは、フランス語で「家族の絆」という意味です。

お問い合わせ

壬生町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0282-81-1873

教育委員会ホームページ <http://www.mibu.ed.jp/>

壬生町青少年健全育成実施委員会主催 「携帯電話講習会」を開催しました

11月21日に陸小学校において、5年生の児童及び保護者の方を対象にした携帯電話講習会が開催されました。講師に合同会社ロジカルキットの田尻丈太郎氏を招き、「ネット上の出会いを考えよう」「便利すぎる怖さを考えよう」など、子どもたちに考えさせながら、携帯電話に頼りすぎず、考えることの重要性のお話を伺いました。



お子様が安全に安心してインターネットを利用するために保護者ができる3つのポイント

①適切にインターネットを利用させましょう。

トラブルに遭っていないか、過度の長時間利用になっていないかなど、こまめに利用状況を確認しましょう。

②家庭のルールをお子様と一緒に作りましょう。

お子様が使おうとしているサービスと一緒に見てみましょう。一緒に見ることで、懸念されるリスクについて確認することができます。

また、お子様の利用履歴を勝手にチェックするのではなく、お子様と一緒に確認し、問題がないか話し合しましょう。

ご家庭のルールは、「困ったときはすぐ相談する。」「利用する場所や時間帯を決める。」「インターネットを使わない子を仲間はずれにしない。」など、具体的に決めましょう。

③お子様に持たせる携帯電話等には、フィルタリングなどを設定しましょう。

購入のときに、18歳未満の青少年に使用させることを販売会社等に伝えましょう。

また、保護者の目が届かないところで、お子様がインターネットを利用する可能性がある場合には、フィルタリングや閲覧制限・課金制限などのペアレンタルコントロール機能を積極的に利用しましょう。



“認め合い、支えあう” 男女共同参画のまちを目指して 男女共同参画講演会を開催しました

12月13日、壬生中央公民館大ホールにおいて、男女共同参画講演会が町教育委員会と壬生町女性団体連絡協議会の主催で行われ、約200名の方にご来場いただきました。

第一部の式典に続き、第二部では、男女共同参画社会の形成や施策に関することを審議する壬生町男女共同参画推進委員会（委員長 鈴木節子）による寸劇が行われ、「男女共同を考える日常的一幕」を通して、来場者の皆様に地域や職場での男女共同とは何かを考えていただきました。

寸劇に引き続き、町女性団体連絡協議会（会長 福田弘子）が「女と男の『ホンネ』」と題しての公開座談会を行いました。座談会では、寸劇を見て感じたことを話し合い、よりよい社会づくりには、どうしたらいいのかを来場者の皆様と一緒に考えました。

また、ロビーでは、町女性団体連絡協議会の日頃の活動を紹介したパネル等の展示を行いました。

第三部では、代表作「だめんず・うぉ～か～」の著者 漫画家 倉田 真由美氏による「くらたま流 スッキリ生きる方法」と題しまして、人間関係や健康などについてご講演をいただきました。



町女性団体連絡協議会では、各団体の会員を募集しております。詳細については、女性団体連絡協議会事務局（壬生中央公民館内 ☎82-0108）までご連絡ください。

（町女性団体連絡協議会 構成団体）

- ① 農村生活研究グループ協議会 ② ひまわり会
- ③ 女性会 ④ J A しもつけ壬生地区女性会
- ⑤ 商工会女性部 ⑥ 交通安全協会女性部
- ⑦ 消費者友の会



～高橋尚子さんと壬生路を走ろう～ 第3回 みぶまち 壬生町ゆうがお マラソン大会



12月7日、壬生総合公園陸上競技場及び周辺道路において第3回壬生町ゆうがおマラソン大会が開催されました。ゲストランナーに高橋尚子さんをお迎えし、青空の下で約2,500名のランナーが激走を展開しました。レース終了後は、高橋尚子さんによる講評やオークションなどが行われ、大いに盛り上がりしました。

大会結果 優勝者

10km

男子 高校生以上～29歳以下	栃木 祐輝	32分25秒
男子 30歳以上～49歳以下	館野 聡	32分59秒
男子 50歳以上	大田原 啓	37分02秒
女子 高校生以上～39歳以下	田村 聡美	39分47秒
女子 40歳以上	古橋 留美	41分40秒

5km

男子 中学生	松井 尚希	17分00秒
男子 高校生以上～29歳以下	阿由葉 翔太	16分00秒
男子 30歳以上～49歳以下	葭葉 剛士	16分37秒

男子 50歳以上	大塚 政行	18分13秒
女子 高校生以上～39歳以下	小林 絵里菜	19分08秒
女子 40歳以上	小井戸美智代	21分12秒

3km

男子 小学校(4～6年)	池田 愛登	10分45秒
女子 小学校(4～6年)	堀内 望玖	11分03秒
女子 中学生	飯塚 響	10分33秒

2km

親子ペア小学校(1～3年)	広門建護・有美	7分59秒
ペア	北野裕之・諏訪昌幸	7分03秒



ゆうがおマラソン大会出店売上金を町へ

12月7日、壬生総合公園陸上競技場で開催された、第3回壬生町ゆうがおマラソン大会において出店された、みぶまち地域活性化21(代表大橋良平氏)の14店舗の皆様から売上金の一部を壬生町のために役立てて欲しいと36,000円の寄附がありました。



栃木県道路愛護作業コンクール 1団体が最優秀賞、5団体が優秀賞を受賞

11月17日、栃木県公館において栃木県道路河川愛護連合会主催による「平成26年度道路愛護作業コンクール表彰式」が開催されました。

このコンクールは、参加団体が良好で快適な道路環境の維持・保全、花木の植栽による道路の美化などに取り組んだ結果を、建設・維持・環境、フラワー部門に分けて審査、表彰をするものです。

壬生町では、至宝町南美化推進クラブがフラワー部門最優秀賞、緑町三丁目自治会、福和田花壇管理組合、六美町北部自治会、下町南花壇管理組合、稲葉地区公民館周辺花壇管理組合がフラワー部門優秀賞を受賞しました。

各団体とも、地域内の国道、町道等の緑地帯等の花の植え付け、除草清掃及び、空き缶・ゴミ拾い等の道路愛護作業を定期的に行い、積極的に道路美化活動に取り組んでおります。



写真左から 六美町北部自治会 大西 良雄さん
至宝町南美化推進クラブ 桑川 隆男さん
緑町三丁目自治会 小平 留義さん
福和田花壇管理組合 大橋 良平さん

子育て支援センターにサンタさんがやってきた

12月4日、子育て支援センターにサンタさんが、おはなしキャラバン「つぼみ座」のみなさんを連れてきました。つぼみ座さんは、エプロンシアター、ペーパーシアター、人形劇と盛りだくさんの出し物を演じてくれ子どもたちを楽しませてくれました。サンタさんと一緒に歌ったり、手遊びをしたり楽しんだ後、子どもたちは、プレゼントや記念撮影をして大喜びの一日でした。



町民活動支援センター「みぶりん」で “活動発表会”を開催！

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」で、11月29日（土）に、登録団体間の交流・連携をさらに強化することを目的に活動発表会を開催しました。

当日は、30団体約70名の方が参加し、団体のPR、現在の活動状況などを報告していただくとともに、とちぎ市民活動推進センター「くらら」副センター長の中村絹江氏をアドバイザーとしてお招きし、住民協働のまちづくりを推進していくための「みぶりん」の役割、そして各団体の活動に対するアドバイスなど貴重なご意見をいただきました。

今後も、「みぶりん」では、各団体間の連携強化や団体活動の活性化をめざし、様々なイベントを開催していく予定です。



わたなべ よう いち 戦場カメラマン 渡部陽一さんの 講演会が開催されました

平成26年度
栃木県地域
自殺対策
緊急強化事業



12月4日に壬生町と壬生町教育委員会、壬生町家庭教育支援実行委員会の共催により、「戦場カメラマン」こと渡部陽一さんをお迎えしての講演「戦場の現場から祈りを捧ぐ ～命の大切さ互いを愛し、敬いあうこと～」が南犬飼中学校にて行われました。

大きな身振り手振りを交えたおなじみのゆっくりとした話し方で、普段はなかなか聞くことができない戦場の厳しい現実をわかりやすく伝える内容に、会場となった体育館に集まった中学生や父兄の皆さんも話に引き込まれ、真剣に聴き入っていました。

講演の最後には南犬飼中学校生徒会長が渡部さんへお礼の言葉を伝えました。



交通・生活安全安心県民大会で知事表彰

11月21日、県総合文化センターにおいて、「第6回栃木県交通・生活安全安心県民大会」が開催され、この席上で壬生町からは「交通安全対策功労者」と「安全で安心なまちづくり功労団体」に対する知事表彰の伝達式がありました。

◆交通安全対策功労者表彰

壬生町交通安全協会副会長 笠野光行 様

◆安全で安心なまちづくり功労団体表彰

羽生田小PTAスクールガード 様 稲葉小学校安全支援ボランティア 様
睦小学校学校安全ボランティア 様



〈写真〉左から 笠野さん
小管町長

人権擁護委員が街頭啓発活動を実施



国連が世界人権宣言を採択した12月10日（「人権デー」）を最終日とする1週間（12月4日から10日）を人権週間と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動として、町人権擁護委員協議会（齊藤和子会長）では、12月9日に町内2カ所において、多くの方に人権の重要性を認識して頂くため、街頭啓発活動を実施しました。また、当日は特設人権相談所を保健福祉センターに開設し、相談業務を実施しました。

年末の交通安全・防犯特別警戒を実施

年末の交通安全・防犯特別警戒に合わせ壬生町防犯組合連絡協議会（森島淳会長）では、年末を迎え事件事故が多発する傾向にあることから、壬生町からの事件事故を最小限にとどめるよう、自治会単位による防犯診断や町内のスーパーマーケット等での街頭啓発活動を実施し、多くの方へ周知しました。

また、壬生町交通安全協会（田中作蔵会長）では、広報車で町内を巡回し、年末の交通安全活動のお知らせ・協力を呼びかけました。また、交通安全啓発用のぼり旗を、町内要所に掲出し、交通事故防止の活動を行いました。



カーブミラー清掃作業 壬生町交通安全協会南犬飼支部



壬生町交通安全協会南犬飼支部（大友達示支部長）では、11月30日と12月18日に地域内にある178本のカーブミラー清掃、点検を行いました。水拭き、空拭きでカーブミラーはピカピカになり、見通しが改善され、これまで以上にきれいになったカーブミラーで交通安全を願っていました。



まちのわだい

空手道大会入賞

11月30日茨城県取手市で開催されました「第18回NPO法人実武道会館オープン空手拳法選手権大会」に川田塾（壬生町安塚）から組手の部に14名（幼児～5年生）が^{ほしの りく}出場し、星野陸くん（壬生東小3年生）が3位入賞しました。本大会はオープントーナメント制で県内外から160名（組手：男女混合）が出場しました。



小学3年の部3位 ^{ほしの りく} 星野 陸（壬生東小3年生）

せせらぎ会 県障害者スポーツ大会で2連覇

10月12日、栃木県総合運動公園等において行われた、第10回栃木県障害者スポーツ大会のソフトボールの部門で、せせらぎ会が昨年に引き続き優勝し2連覇という快挙を達成しました。

選手達は、社会福祉法人せせらぎ会のグループホームの入居者が中心で、男性12名女性1名のクラブです。



普段は就労しており、仕事休みの日曜日に壬生北小学校のグラウンドで練習に汗を流しています。今回もその成果があり、準決勝戦では26対3と大差で圧勝。続く決勝戦ではいつものペースがつかめず苦戦しましたが、最終回ツーアウト、誰もがあきらめかけたその時、最終バッターのヒットにより2人生還し、逆転サヨナラ勝ちで優勝を収めることができました。

町内対抗野球大会 六美中央が2連覇

11月23日（日）壬生町野球協会主催の町内対抗野球大会決勝戦が行われ、六美中央が優勝し、見事2連覇を達成しました。

大会結果

優 勝	六 美 中 央
準優勝	上 稲 葉
3 位	藤 井 中 央
	万 町



優勝 六美中央



準優勝 上稲葉



社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）受賞

P T Aや家庭教育支援団体のリーダーとして、長年にわたり精力的に活動され、また、壬生町教育委員長（現）、栃木県社会教育員長、栃木社会教育振興協議会長として、栃木県の生涯学習の振興並びに社会教育の推進に多大な貢献をされた池節子さん（幸町）が、その功績を認められ、12月5日、文部科学省において、平成26年度社会教育功労者表彰（社会教育計画）を受賞されました。



特別敬老金 鈴木ゼンさん100歳おめでとうございます。



鈴木ゼンさんが100歳の誕生日を12月4日に迎えられたため、町長がご自宅を訪問して敬老金を手渡しし、長寿をお祝いしました。

耳が少し遠く、ご家族とは筆談でお話をしていच्छいます。訪問の理由が書かれたボードをご覧になった後に町長が花束をお渡しすると、嬉しそうに受け取られました。

これからますます元気で長生きをしていただきたいと思います。

壬生町では、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えられた方に、特別敬老金を贈り長寿を祝っております。平成4年4月から実施している事業です。

栃木県統計大会

平成26年12月17日、栃木県総合文化センターにおいて、第52回栃木県統計大会が開催され、^{くめ がわひろ こ} 桑川博子さんが総務大臣表彰、^{た なか さく ぞう} 田中作藏さんが栃木県知事表彰、^{や な し ま け い} 梁島ケイ子さん・^{こ ふく だ よ し み} 福田芳美さんが栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。

それぞれ各種統計調査に従事され、統計調査の発展・推進に多大なる貢献をされています。

※左から福田さん、桑川さん、田中さん、梁島さん



町民の歌 CD 絶賛発売中

ご家族で覚えて歌おう!!



1枚 500円

広報みぶ縮刷版 販売中

昭和53年～平成元年

広報みぶ縮刷版 500円

詳しくは

町総務部総合政策課情報広報係 ☎81-1814

《お任せください》

皆様の暮らしを守ります

○壬生町水道施設維持管理業務

○壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比須OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102



まちのわだい

平成26年度コミュニティ助成事業で 六美町南部自治会公民館が建設されました

(一財)自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業のコミュニティ助成を受け、六美町南部自治会(橋本繁郎自治会長・田崎勝征建設委員長)が公民館を新築しました。

六美町南部自治会では、自治会員相互の連携と親睦、少子高齢化に向けた良好な地域社会の維持と発展を目指して、活動と交流の拠点整備を数年かけて準備してきました。

今後も、レクリエーション等親睦を図る各種行事の開催と東日本大震災を教訓にした避難訓練、相互扶助、協力体制等、防災活動を行う予定です。



嘉陽が丘の里山整備（下草刈り）を実施



11月9日(日)早朝より、地域の方約150名と壬生町造園業組合、壬生町建設業組合及び壬生町管工事業組合のボランティアの方約50名の協力により、嘉陽が丘ふれあい広場周辺山林の下草刈り及び清掃活動が行われました。

この事業は、町の「明るく安全な里山林整備事業」を活用して、自然豊かな環境づくりと、美しい里山を次代に引き継ぐことを目的として、嘉陽が丘里山の会(坂田昇一会長)が毎年実施しています。

災害ボランティアセンターシミュレーション事業

平成26年11月8日(土)壬生町保健福祉センターにおいて、壬生町社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンターシミュレーション事業」が実施され、当日は、壬生町ボランティア連絡協議会加入団体会員など約40名が参加しました。

全国各地で多発している自然災害を踏まえ、本町で災害が発生し災害ボランティアセンターが設置されたことを想定し、センターの設置、運営に関する訓練を行いました。訓練はボランティアをしたい人が来たときの受付の場面、ボランティアに来てほしい人の受付の場面、その2つをコーディネートする場面などをスタッフ役とボランティア役に分かれロールプレイを行い、非常時に対応できる知識とスキルを学びました。



ボランティアの受け付けの様子

地元と共に まごころサービス

鈴木自動車販売グループ

ロータスクラブ壬生車検センター

鈴木自動車販売株式会社

壬生町安塚1170-6

TEL: (86)0798

FAX: (86)0903

新車・中古車販売 くるま市店

スズキ販売壬生

壬生町安塚793-18

TEL: (86)3188

FAX: (86)3172

オートサービス安塚給油所

スタンドスズキ

壬生町安塚874-3

TEL: (86)0386

FAX: (86)0368

サイクル&モーターショップ

鈴木輪業

壬生町安塚1935

TEL: (86)0012

FAX: (86)1356

フリーダイヤル 0120-12-0798

自主防災組織に待望の 防災倉庫が完成

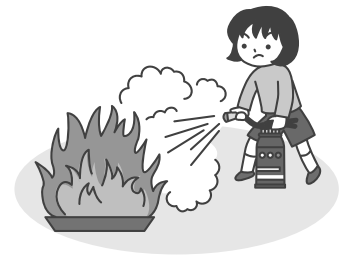
地域に根差した防災活動をしていただいている自主防災組織に、（一財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）による宝くじの普及広報事業の助成を受けて、防災倉庫が設置されました。

コミュニティ助成事業とは、地域の防災思想の高揚、及び地域の自主防災組織の育成の為の事業です。

今回、防災倉庫が設置されたのは六美北部ワンワン自主防災会、城内自治会自主防災会の二つの組織です。

各組織では防災倉庫の建設により、各地域の防災力向上への意欲を燃やしていました。

自主防災組織の防災への熱い思いを壬生町、及び（一財）自治総合センターは支援しています。



教育・文化・スポーツの振興に取り組む

こんにちは！壬生町教育委員会です！

第57回

今月の「壬生論語古義抄」（十）

新しい論語素読のテキスト『壬生論語古義抄』から、章句を紹介します。

【二六】

子曰く、由、女に之を知ることをしををしえん。
之を知るを之を知ると為し、知らざるを知らずと為よ。
是れ知るなり。

（為政第二）

知っていることと知らないことを区別し、自分の今の限界を知るのが、本当に知ることだ。

【みぶまるから一言】

知っていることを「知っている」と言っ、知らないことを「知らない」と言う。当たり前のことだけど、とっても大切なことだよ。

「知っていること」は自分の知識で「知らないこと」はこれからの勉強だね。

どこまで知っているかを自分で分かっていて、自分の知りたいことが分かれば、自分の進む道も決まってくるね。



毎週土曜日朝9時から10時まで、歴史民俗資料館で、この『壬生論語古義抄』を使った素読の教室《壬生論語古義塾》を開催しています。自由参加ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、初回のみ2000円の資料代がかかります。

みんなの 広場

わが家の アイドル



今回は3月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】2月20日

【必要事項】氏名(ふりがな)(複数のアイドルが写っている場合はそれぞれ分かるように明記してください)、保護者名、生年月日、住所、電話番号

【申込方法】必要事項を明記の上、役場総合政策課または稲葉・南犬飼出張所・子育て支援センターまで

【申 込 先】町総務部総合政策課 情報広報係
〒321-0292 壬生町通町12-22
Eメールアドレス
info@town.mibu.tochigi.jp



なかむら まこと
中村 誠ちゃん
(H26.1.6生)(万町)



おおしま あゆと
大島歩斗ちゃん
(H26.1.20生)(城内)



みやぐちあつと
宮口篤人ちゃん
(H24.1.30生)(本郷)



さいとう あい
齋藤奈央ちゃん(H22.6.7生)
あか あき
永明ちゃん(H26.1.13生)
(六美町南部)



こやま ゆうと
小山悠斗ちゃん(H19.6.27生)
あいな
愛奈ちゃん(H23.1.7生)
(落合)

歴史民俗資料館だより

埋蔵文化財発掘調査シリーズ

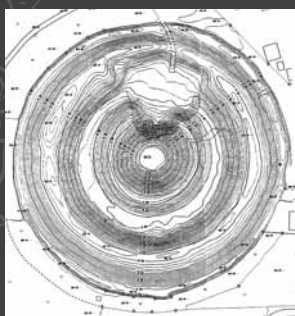
『みぶ古墳群』発掘調査の始まり

―最先端の土木技術で造られた「車塚古墳」―

図に示した車塚古墳と桃花原古墳の測量図を見比べてください。両古墳とも同じ時期、墳丘も三段に造られ表面に「葺石」の施設を持つているなど、墳丘の大きさが違うほかは非常に似ている古墳です。しかし、目を凝らして測量図の等高線を見ていくと、車塚古墳の等高線の方がきれいな円形を描いていることがわかります。特に墳丘の第三段部を見ると、コンパスで描いたような見事な円を描いています。

の石垣を造る際に使われる「栗石」に引き継がれているのかも知れません。
*「葺石」(ふきいし)
古墳の表面を人の頭大の石で覆う施設
「栗石」(ぐりいし) 石垣の裏込めに使われる砂利

今回の車塚古墳の発掘調査が行われる前までは、車塚古墳の表面を覆う「葺石」が良好に残っているため、墳丘も良好な状態で残っていると考えていました。しかし墳丘を覆っている多くの「葺石」は崩落していることがわかり、「葺石」の下層に埋められていた砂利層が露出していました。発掘調査では、この砂利層を掘り下げたところ厚さが1mほどあり、この砂利層が今日のコンクリートのような役割をしていることがわかりました。この厚く堅固に盛られた砂利層のため、墳丘の形が良く残りました。この技術は、江戸期に城



車塚古墳



桃花原古墳

問合せ先

歴史民俗資料館

☎02882-8218544

今年成人式を迎えた皆さん、おめでとうございます！

【壬生町成人式特集】放送時間 (30分番組)

1月27日(火) 9:00～/1月28日(水) 9:30～

1月29日(木) 20:00～/1月30日(金) 20:30～

1月31日(土) 21:00～/2月1日(日) 21:30～



栃木ケーブルテレビ ケーブルテレビの地域情報をご覧になりたい方は下記までご連絡ください
☎0120-25-1819 代表 ☎0120-25-1819 代表 ☎0120-25-1819 代表

地上デジタル 111ch

リモコンボタンは 11

★CC9ニュース 今後の取材・放送予定★

内 容	開催日	放送日
節分会(壬生寺)	2/3(火)	2/4(水)
はにわ作り教室(壬生町歴史民俗資料館)	2/8(日)	2/10(火)

みなさんの地域の身近な話題をお寄せください【CC9ニュース】月曜～金曜 夕方6時更新

おもちゃ団地 第43回 チャリティーバザール

12月13・14日の2日間、おもちゃ団地グラウンドをメイン会場として、おもちゃ団地冬の恒例行事、おもちゃ団地チャリティーバザールが開催されました。

今年も会場には、おもちゃ団地に事業所のある各企業や地元商店会によるテントが立ち並び、各テントには、様々なおもちゃや雑貨、文房具などを買い求める人の列ができていました。

早朝から開門を待つ行列ができ、会場は県内外から多くの来場者でにぎわいました。

なお、収益の一部は12月17日におもちゃ団地協業組合より、町に寄付されました。



「とうぶの森 とちぎ中央」 で森林保全活動を実施



12月6日、中泉地内天神沼周辺にある東武鉄道（株）所有地の森林（森の名称「とうぶの森 とちぎ中央」）で、森林保全活動が実施されました。

この活動は、みぶ羽生田産業団地周辺の自然環境を保全する手法として、県の「企業等の森づくり推進事業」を活用し、里山林を整備していくもので、今年度で2年目になります。

この日は、東武鉄道（株）社員、県・町職員、NPO法人はにしの里自然塾や羽生田小・壬生北小児童と家族など約160人が参加し、枝打ちやチップ散布、コースター等作成、自然観察会を行いました。

今後も、東武鉄道（株）・県・県企業局・町との協働により、森づくり活動に取り組んでいきます。



壬生東小3年
くめかわ さやか
糸川 紗也華

絵画「本を読んでるわたしだよ。」



絵画「どうぶつえん」



壬生東小1年
まつやま けい
松山 圭翔



表紙の写真

1月9日に行われた壬生・ふるさと夢大使就任式での一枚です。賀詞交歓会と併せて行われ、大勢の要職の方や報道陣の前での交付となりました。ユーモアを交えたあいさつで、会場は終始にこやかな雰囲気でした。

2月の納税等			
● 固定資産税	(4期)		
● 国民健康保険税	(8期)		
● 介護保険料	(8期)		
● 後期高齢者医療保険料	(8期)		
納期限	3月2日		